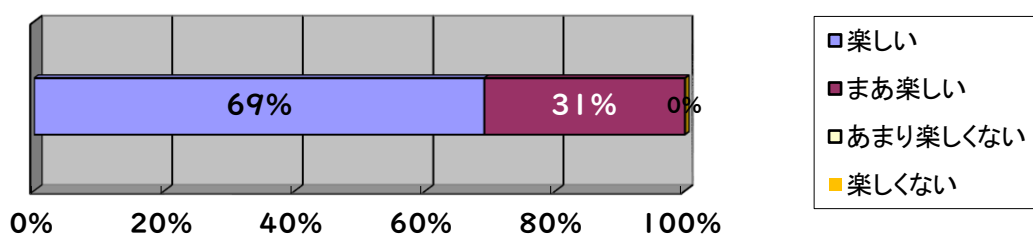


令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

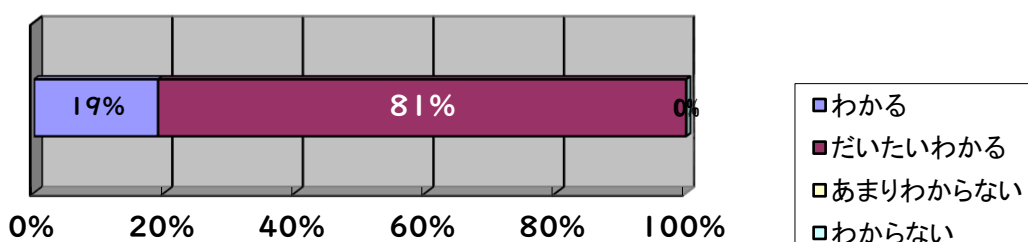
1 自己評価結果

令和7年度の1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」、「まあ楽しい」と回答した児童が100%だった(資料1)。また、「動画教材のお話はわかりますか。」という質問に、「わかる」、「だいたいわかる」と回答した児童も100%だった(資料2)。また、動画教材のお話はわかりますか(資料2)の問いに対する理由(資料3)から、リズムに合わせて、繰り返し学んだり、動画映像を見て内容を把握したりすることで、英語を学ぶ楽しさを実感しているようだ。これらのことから、動画教材の視聴が有意義であり、毎日の視聴によって英語の力が身に付いていることが実証された。しかしその一方、歌等のテンポが速かったり、字幕が漢字であったりすることで、内容把握の難しさを感じている児童が多いため、適切な教師支援が必要であることがわかった。

児童アンケート【英語活動は楽しいですか】(資料1)



児童アンケート【DVDの話はわかりますか】(資料2)



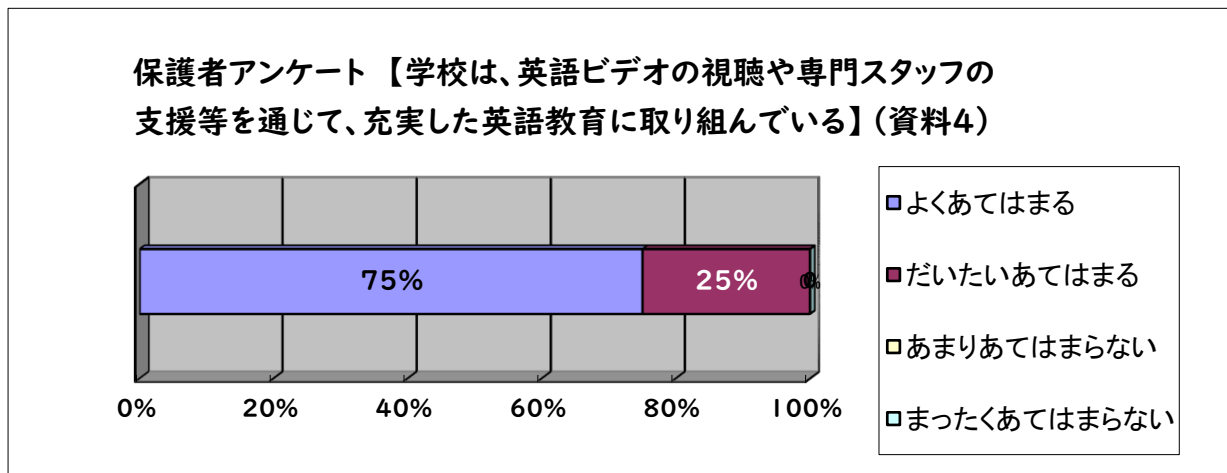
児童アンケート【「動画教材のお話はわかりますか」の問いに対する理由】(資料3)

- リズムによって何度も発音すると楽しく、内容がわかってくる。
- 絵や文字が出てくるからわかりやすい。
- 映像を見て発音をするうちに、話せるようになる。
- わからないことを先生が教えてくれたので、わかった。
- ▲歌等のテンポが速く、何を言っているのかわからないときがある。
- ▲難しい単語があって、言えないときやわからないことがある。

2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けアンケートの「学校は、英語ビデオの視聴や専門スタッフの支援等を通じて、充実した英語教育に取り組んでいる」という質問に対して、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した保護者は100%（資料4）であった。また、「よくあてはまる」と回答している保護者は7割を超えており、児童アンケートの様子と似た結果が見られた。

これは、専門スタッフであるSTやALTと行う外国語活動及び英語の授業や、全校児童で英語に親しむ全校英語などの活動が充実したものとなっていることが要因として考えられる。今後もこうした取組の充実を図るととともに、1～4年生の動画教材による外国語活動については、児童の様子を注視し、必要に応じて適切な支援に心掛けたい。このことによってより理解を促し、分かる楽しさを味わえるようにしたい。また、保護者や地域の方に英語活動を楽しむ児童の様子を学校ホームページや学校通信、学級通信などで発信していきたい。



3 まとめ

毎日の英語活動では動画教材の視聴を通して児童は英語に親しみ、英語活動が「楽しい」や「まあ楽しい」と答えている。しかし、英語DVD視聴については「わかる」と自信をもって答えた児童が2割にとどまっている。繰り返し視聴し、教師による補足説明を行うことによって、英語を理解し楽しさを味わっている様子が伺えた。今後も児童にとってわかる英語活動とするため、必要に応じて教師が内容を補足したり、英語に親しめるように活動内容を工夫したりして、児童にとってより楽しい英語活動となる実践を行っていききたい。